



# 県内主要産業の動向

2018年8・9月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	18年7月	18年8月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は低調に推移。ホテルや飲食店向けなど業務用が伸び悩む。個人向けも、アウトドア用は堅調なものの、消費者の節約志向から総じて低調に推移。国内需要が低迷する中で、ヨーロッパで開催される展示会に参加し、高品質を求める海外市場での販路開拓を目指す動きもみられる。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は低調に推移。新設ホテルや飲食店向けの厨房機器などに需要があるものの、全体では動きは鈍い。家庭用も盛り上がり欠ける。そうした中、新商品を投入し需要喚起を図る企業もみられる。調理器具等の輸出は堅調で、海外の富裕層を対象に販路拡大を図る動きも続く。
作業工具	◐	◐	→	国内販売は、建築関連工具を中心に堅調。公共設備における設計管理の厳格化傾向もあり、トルクレンチ需要が続いている。輸出は、各業者の出荷状況に差はあるが一服感。今後の米中摩擦について影響を懸念する声も聞かれた。鋼材価格、運賃の高止まりが続きコストアップ要因に。
電子部品 ・デバイス	○	○	→	受注は総じて好調。半導体関連では、半導体素材の受注が引き続き堅調。電子部品関連では、半導体製造装置向けは、足下で増勢基調がやや一服。一方、携帯端末向けは、これまでの弱含み状態から持ち直しつつあり、スマホの新製品発売を受けて今後の受注増が期待される。
鋳物	○	○	→	受注は総じて堅調。工作機械関連、半導体関連が好調を維持。自動車関連は米中摩擦により受注に一服感がみられ、問題の長期化を懸念する声も聞かれた。足下では、原油高の影響で副資材の価格が上昇。人手不足で労務費も嵩み、生産は繁忙ながらも利幅は拡大せず。
金型	○	○	→	受注は総じて堅調。首都圏のビル向け建築金物は引き続き好調。暖房機器は厳冬予測を受けて、例年よりやや強含み。柱となる自動車は、車載機関連が好調の反面、車体部分については米中摩擦の動向注視で動きが鈍い。足下では、恒常化する人手不足解消が大きな課題。
一般機械	○	○	→	国内は自動車、航空機を中心に引き続き好調。海外は、中国が前年比では増加基調を維持しながらも単月受注減少に転じ、沈静化の気配がみられる。やや不透明さを増してきている中国の動向や、米中摩擦がサプライチェーンに与える影響について懸念する声もある。

